



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本製罐株式会社

コード番号 5905 URL <http://www.nihonseikan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 城座 隆夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 井上 淳嗣

TEL 048-665-1257

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,478	10.2	35	—	54	—	55	—
26年3月期第1四半期	1,342	△0.2	△48	—	△19	—	△20	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	4.77	—
26年3月期第1四半期	△1.73	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年3月期第1四半期	9,603	—	2,963	—	30.8	255.99
26年3月期	9,118	—	2,705	—	29.6	233.40

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 2,958百万円 26年3月期 2,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期の期末配当は未定であります。

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,700	△0.3	△20	—	1	—	1	—	0.09
通期	5,760	2.5	0	—	40	△47.4	45	△40.8	3.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	11,600,000 株	26年3月期	11,600,000 株
27年3月期1Q	42,130 株	26年3月期	31,130 株
27年3月期1Q	11,563,370 株	26年3月期1Q	11,573,020 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①販売実績

当社の当第1四半期累計期間の売上高は、鋳工業生産の落ち込みの影響等から18L缶業界全般に売上高が前年同四半期比減少傾向にあります。このような状況下、当社も主力の18L缶の売上高が前年同四半期比40百万円減少しました。一方、美術缶においては、増税後の反動による影響が少なかったことに加え、輸出向け製品の増産や受託生産が増加したことにより、前年同四半期比144百万円増加し、売上高合計では前年同四半期比136百万円、10.2%の増加となりました。製品別の売上高は、以下のとおりとなっております。

	前年同四半期		当第1四半期		前年同四半期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
18L缶	989	73.7	948	64.2	△40	△4.1
美術缶	298	22.2	442	29.9	144	48.5
その他	54	4.1	87	5.9	32	58.5
計	1,342	100.0	1,478	100.0	136	10.2

製品別売上高

(単位：百万円、%)

②損益実績

上記売上高に対し、前期から引き続き取り組んでいる受注に見合った生産体制の確立により製造原価が圧縮され、売上総利益は213百万円と前年同四半期比85百万円の改善となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、手数料を中心とした経費の削減により178百万円となり、営業損益は35百万円の利益を計上し、前年同四半期比83百万円改善しました。なお、四半期累計期間において営業損益の黒字化は、第106期第1四半期（平成22年6月）以来4期ぶりとなります。

経常損益につきましては、不動産賃貸収入、受取配当金等による営業外収益54百万円を計上し、営業外費用34百万円を計上した結果、54百万円の利益となり、前年同四半期比では74百万円改善となりました。

この結果、四半期純利益は55百万円となり、前年同四半期比75百万円の改善となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①当第1四半期会計期間末における資産合計は9,603百万円となり、前事業年度末に比べ484百万円の増加となりました。

主な増減要因は、以下のとおりであります。

- ・流動資産は、現金及び預金の増加91百万円、受取手形及び売掛金の増加103百万円、たな卸資産の減少5百万円等の要因で、183百万円の増加となりました。

- ・固定資産は、減価償却等による有形固定資産の減少26百万円、無形固定資産の減少10百万円、株価の値上がりに伴う投資有価証券の増加336百万円等による投資その他の資産の増加339百万円等の要因で、301百万円増加しました。

②当第1四半期会計期間末における負債合計は6,639百万円となり、前事業年度末に比べ226百万円の増加となりました。

主な増減要因は、以下のとおりであります。

- ・流動負債は、支払手形及び買掛金の増加30百万円、賞与引当金の増加16百万円、有利子負債（短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金）の減少91百万円、未払事業所税の減少13百万円、設備関係支払手形等の増加によるその他の流動負債の増加57百万円等の要因で、1百万円の増加となりました。

- ・固定負債は、長期借入金の増加97百万円、投資有価証券の時価差額の増加に伴う繰延税金負債の増加119百万円等の要因で、225百万円の増加となりました。

③当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,963百万円となり、前事業年度末に比べ258百万円の増加となりました。

主な増減要因は、以下の通りであります。

- ・株主資本は、四半期純利益55百万円、配当金の支払い17百万円等の要因で、36百万円増加しました。
- ・評価・換算差額等は、株価の値上がりによるその他有価証券評価差額金の増加により221百万円の増加となりました。

④当第1四半期会計期間末の有利子負債残高（長短借入金）は3,665百万円となり前事業年度末に比べ6百万円の増加となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年4月25日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて計算しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	956,880	1,048,401
受取手形及び売掛金	1,614,404	1,717,932
商品及び製品	94,812	97,086
仕掛品	306,119	303,874
原材料	81,462	76,349
その他	27,951	21,267
貸倒引当金	△1,401	△1,465
流動資産合計	3,080,229	3,263,446
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,730,955	4,734,846
減価償却累計額	△3,000,992	△3,025,524
建物(純額)	1,729,963	1,709,322
構築物	164,094	164,094
減価償却累計額	△147,815	△148,546
構築物(純額)	16,278	15,547
機械及び装置	5,385,897	5,407,395
減価償却累計額	△4,966,009	△4,990,800
機械及び装置(純額)	419,887	416,594
車両運搬具	52,541	53,241
減価償却累計額	△50,124	△50,456
車両運搬具(純額)	2,416	2,784
土地	108,232	108,232
建設仮勘定	1,400	—
その他	344,477	345,613
減価償却累計額	△324,652	△326,913
その他(純額)	19,825	18,700
有形固定資産合計	2,298,004	2,271,181
無形固定資産		
ソフトウェア	70,036	59,256
その他	577	577
無形固定資産合計	70,613	59,833
投資その他の資産		
投資有価証券	1,828,245	2,164,802
関係会社株式	1,059,995	1,059,995
賃貸不動産	1,535,730	1,548,419
減価償却累計額	△767,652	△776,976
賃貸不動産(純額)	768,078	771,442
破産更生債権等	2,466	2,466
その他	13,633	12,896
貸倒引当金	△2,466	△2,466
投資その他の資産合計	3,669,953	4,009,137
固定資産合計	6,038,571	6,340,152
資産合計	9,118,800	9,603,599

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,782,725	1,812,820
短期借入金	658,200	523,000
1年内返済予定の長期借入金	958,800	1,003,000
未払法人税等	6,387	6,768
未払事業所税	17,969	4,608
賞与引当金	17,116	34,070
その他	217,205	275,198
流動負債合計	3,658,403	3,659,465
固定負債		
長期借入金	2,042,300	2,139,300
繰延税金負債	647,589	767,070
役員退職慰労引当金	18,447	18,447
資産除去債務	11,202	11,239
その他	35,583	44,253
固定負債合計	2,755,122	2,980,310
負債合計	6,413,525	6,639,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	630,000	630,000
資本剰余金	136,773	136,773
利益剰余金	1,109,729	1,147,493
自己株式	△4,156	△5,267
株主資本合計	1,872,347	1,909,000
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	827,792	1,049,686
評価・換算差額等合計	827,792	1,049,686
新株予約権	5,136	5,136
純資産合計	2,705,275	2,963,822
負債純資産合計	9,118,800	9,603,599

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,342,299	1,478,744
売上原価	1,213,977	1,265,299
売上総利益	128,322	213,444
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	67,125	67,483
従業員給料及び手当	34,874	37,644
役員報酬	13,701	13,689
株式報酬費用	—	1,926
賞与引当金繰入額	2,430	5,527
支払手数料	17,220	10,244
減価償却費	13,331	13,863
その他	28,024	28,058
販売費及び一般管理費合計	176,708	178,438
営業利益又は営業損失(△)	△48,385	35,006
営業外収益		
受取利息	31	31
受取配当金	13,334	17,267
不動産賃貸料	47,257	35,082
雑収入	4,134	2,310
営業外収益合計	64,757	54,691
営業外費用		
支払利息	16,269	14,678
手形売却損	1,400	1,970
売上債権売却損	285	421
不動産賃貸費用	8,980	8,371
賃貸建物減価償却費	9,356	9,324
その他	—	103
営業外費用合計	36,293	34,870
経常利益又は経常損失(△)	△19,921	54,827
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5,581
特別利益合計	—	5,581
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△19,921	60,408
法人税等	131	5,291
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△20,052	55,117

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

当社は、金属缶の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

当社は、金属缶の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。